

科目名	開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
健康レベル別看護学実習Ⅱ	通年	3年	必修	3単位	135h
担当教員名	メールアドレス		オフィスアワー		
◎小林磨巳永	kimie.kobayashi@tohto.ac.jp		学生の申し出により時間調整		
授業の概要					
<p>主として、慢性的経過をたどる疾病・障害により治療を要する対象、ならびに終末期にある対象への看護を、病棟での受け持ち看護学実習を通して学ぶ。さらに、成人・高齢期にある対象者が健康障害とともに生活していくための支援や、健康障害をもちながらその人らしく療養生活していくための支援に関する基礎的な看護を学ぶ。</p>					
キーワード		到達目標			
慢性期看護	セルフケア	セルフマネジメント	ターミナル期	看護過程展開	<ol style="list-style-type: none"> 1. 治療および看護を必要とする対象者とその家族について、全人的に理解することができる。 2. 健康上の問題を理解し統合した判断により、看護上の問題を抽出、問題解決にむけた看護計画の立案、看護援助の実践、評価・修正ができる。 3. 保健医療チームおよび看護師の専門的な役割と連携について、理解することができる。 4. 看護師としての姿勢・態度を養うことができる。 5. 受け持ち期間の看護サマリーを作成し慢性病をもちながら療養生活している、あるいはターミナル期にある対象とその家族の看護について考察を深めることができる。
学習内容					
<p>【実習方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習場所：主に内科病棟、混合病棟など 2. 担当を予定している患者：呼吸器疾患、心疾患、腎臓疾患、代謝疾患などの慢性疾患をもつ患者あるいは難病、回復期にある患者、緩和ケアが必要な患者 3. 実習のすすめ方 <ol style="list-style-type: none"> 1 週目：学内オリエンテーション、学内演習、病院・病棟オリエンテーション、病棟実習 2 週目：病棟実習、ケースカンファレンス 3 週目：病棟、最終カンファレンス、評価面接 <p>実習の詳細は、「2026年度 健康レベル別看護学実習Ⅱ 実習要項」を参照すること。</p>					
受講要件					
3年次前期までの学年進捗とされているすべての必修科目の単位を修得していることが望ましい。					
実習記録（事前課題を含む）	その他		合計		
80%	20%		100%		
教員からのメッセージ					
<p>慢性疾患をもちながら生活している人とその家族、あるいはターミナル期にある人とその家族に対して、どのような看護が必要かを考え、いまできる最大限の看護を展開、実践してみましよう。そのためには、すでに学んだ授業を振り返りながら、自分自身で、実習準備をしっかりおこなうことを期待します。皆様、実習を通して大きく成長できるように、教員と臨床の指導者がともに協力して助言・指導にあたります。</p>					